



**児童虐待を防ぐ切れ目のない支援**  
医療的ケア児を支える学校の体制

小野 聡子  
(公明党)

**質問** 里親制度について、本市では今後どのように取り組むのか。また、子育てSOSサービス事業の支援を拡充する考えは。

**答弁** 本市では、児童相談所の設置に向けた準備を進めており、児童に適切な養育環境を提供するためにも、里親制度を含めた社会的養護に係る施設や体制を整える必要があると考えている。そのため、里親制度の拡充・推進に向け、積極的な取り組みを行っていききたい。子育てSOSサービス事



業については、利用者の声に真摯に耳を傾け、さらなる支援の拡充が図れるよう努めていきたい。

**質問** 医療的ケア児を支えるための学校の支援体制は。

**答弁** 現在、小・中学校において受け入れられている医療的ケア児は、小学生4人と中学生1人であり、看護師資格を持つ介助手6人を各学校に配置し、たん吸引等の介助を行っている。今後も支援体制を整えるため、介助手の確保に努めたい。



**安心・安全な学校給食の取り組み**  
金子 和幸  
(日本共産党)

**質問** 本市の学校給食への地場産食材や、減農薬・減化学肥料栽培食材、有機栽培食材の使用状況は。

**答弁** 本市では、栄養士が生産者や関係機関と連携して地産地消を進めるとともに、旬の野菜や特別栽培米のゆめまつりを使用するなど、地場産食材の活用を推進している。今後も生産者



等に減農薬栽培や有機栽培等の推進を働きかけ、安心・安全な食材の確保に努めたいと考えている。

**質問** 国が策定した「みどりの食料システム戦略」に対する本市の取り組みは。

**答弁** 本市では、特に倉淵地域において先進的な有機農業の取り組みが行われており、新規就農者の受け皿



**市営住宅のあり方**  
三島 久美子  
(たかさき未来)

**質問** 市営住宅を長期的な展望に基づき計画的に管理運営するため、より実効性の高い「ストック総合活用計画」を改めて策定する考えは。

**答弁** 市営住宅の老朽化対策については、単に建物の耐用年数だけで解体や改修の判断をするのではなく、施設の状況や地域の実情などを勘案して慎重に検討すべきものであり、画一的な計画作りが難しいと考えている。従って新しい計画を策定する予定はないが、今後もよく研究していきたい。



**質問** 予期せぬ妊娠や性感染症、性暴力を防止するためには、さらに一歩踏み込んだ性教育を行うべきと考えるが、本市の取り組みは。

**答弁** 本市では、小・中学校での保健や道徳の授業における性教育のほか、各学校の学校保健委員会が性教育に関する内容をテーマとして取り上げ、学校や家庭関係機関等が一体となった取り組みや、エイズを含む性感染症予防の啓発を行う取り組みを推進している。



**高齢者の移動手段確保に向けた取り組み**  
長壁 真樹  
(新風会)

**質問** おとしよりぐるりんタクシーの利用の現状は。また、高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業の周知方法は。

**答弁** おとしよりぐるりんタクシーは全てのルートで利用者が増えている。また、高齢者向け買い物支援タクシーチケット交付事業は、買い物困難者への支援だけ



でなく、地域の助け合い活動にもつながるため、実施主体となる町内会からの相談時に事業を案内するほか、区長会等でも周知している。

**質問** 本市におけるドローンの現在の活用状況と今後の導入についての考えは。

**答弁** 本市では、広報・プロモーション分野と防災分野においてドローンを活用

としての重要な役割を担っている。これらの活動を引き続き支援することで、有機農業の振興につなげるとともに、本市の農業の特性

**不登校・ひきこもり支援**  
堀口 順  
(市民クラブ)

**質問** 不登校の児童・生徒の居場所や学びの場の確保のため、校内教育支援センターの設置が必要と考えるが、本市の取り組みは。

**答弁** 本市では、保健室や校長室を不登校児童・生徒の居場所として活用し、さらに中学校においては、ほっとルームやリフレッシュルームと称した空き教室を利用し、教員や学校支援員が児童・生徒のペースに合



空き教室を活用した学習支援



を生かしながら、関係機関との連携を図り、国が示している目標の実現に向けた取り組みを進めていきたい。

**本市の子ども食堂**  
堀口 順  
(市民クラブ)

**質問** 本市の子ども食堂への支援の現状は。

**答弁** 県では、子ども食堂を食生活の場として活用し、子ども食堂への支援の現状は。



**本市の水道計画**  
荒木 征二  
(たかさき未来)

**質問** 水道施設のダウンサイジングや広域連携が重要と思うが本市の取り組みは。また管路の更新の方針は。

**答弁** 水道局では、将来的な水需要に応じた施設規模の最適化が必要と考えており、水道管の更新の際、適切な口径等を検討している。広域連携については、県が令和4年度末に群馬県水道広域化推進プランを策定し、県内水道事業者と協議していく予定であり、本市でも状況を見極めながら研究していく。また、管路の更新



は、経過年数等を考慮して優先順位を付けるなど、計画的に取り組んでいる。

**質問** 吉井都市計画区域の都市計画税を再考すべきと考えるが、本市の考えは。

**答弁** 都市計画税は、地方税法の規定に基づき、高崎市、群馬地域および新町地域の市街化区域と、合併前から都市計画税を課税していた吉井地域の一部において賦課しているが、今後、地域の実情や意見を聞きながら研究していききたい。

**本市における通級指導教室**  
大原 吉明  
(新風会)

**質問** 本市の通級指導教室の体制と今後の展望は。

**答弁** 本市の通級指導教室は、中央教室、中居教室、城山教室、金古教室、下室田教室および堤ヶ岡教室の6教室である。在籍する子どもは、小・中学生と未就学児の897人で、職員43人が指導を行い、各教室や家庭の状況に応じ、1人の子どもに対し週1回または隔週で支援を行っている。



通級指導教室（中央教室）

技術を必要とする業務においては、専門の事業者に委託し、事業の効率化を図る方法も有効と考えている。



今後の支援の在り方については、利用状況を注視しながら研究していききたい。

**質問** 通級指導教室に通う子どもたちへの継続性のあ

**防犯対策**  
林 恒徳  
(市民クラブ)

**質問** 防犯協会の組織概要と、具体的な活動内容は。

**答弁** 高崎市防犯協会は、みよい地域社会づくりに貢献することなどを目的として昭和22年に発足したボランティア団体で、市長が会長となつている。活動内容としては、小学校等の登下校の時間帯のパトロールや防犯に関するチラシの配布などを行っており、こうした活動を通じて地域の防犯意識の高揚を図っている。

**質問** 防犯カメラおよびこ



みステーション見守りカメラの設置状況は。また警察との情報連携で、カメラ画像を提供した実績は。